



社報

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

龜ヶ池



第5号 [平成20年7月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail : info@kamegaike.jp

桃李不言 下自成蹊



桃李不言下自成蹊
桃や李の樹は美しい花を咲かせ、おいしい実をつける。だから何も言わなくても人が自然に集まってきた。その下には自然に道ができる。それと同じように、徳のある人物のもとには、黙っていても人々が慕い寄ってくるのだと言ふ。

亀ヶ池八幡宮「桃と神楽殿」▶

いちじょう

日本人は古来より「勤儉尚武」を旨とし、物を大切に礼儀正しい国民として評されてきた。

戦後六十有余年経ったが、先祖代々引き継がれてきた家財道具や生活用品は生活様式が変わったことがその故か、粗大ゴミとして捨てられている。その価値さえ忘れられ、使い捨て思想が蔓延してしまった。誠に「勿体無い」ことである。しかしその「もったいない」が昨年は考えられない事態を引き起こしてしまった。関西（いや日本？）切つての老舗料理屋のことだ。老舗とは、「先祖代々から続いて繁盛しそれによって得た顧客の信用・愛顧」と定義されている。

ところがである。どうしたことが、事、「もったいない精神」から料理の残り物の使い回しをしていたと言うのだ。店を信用しどこよりも高い金を払って、「旨い」と言つて（言わされたかも）、食したものだ。女将の小理屈の弁明は、お客を欺いたも同然だ。老舗も信用できない世の中になつてしまった。しかし、日本人の飽食も考えなければ世界の笑いものになりかねない。一粒の米も食べられない、飲み水バケツ一杯を片道五キロも遠くから運ばねばならぬ国の人々を考えると、日本人は幸せ過ぎはしないか。



初詣 賑わう御社頭

—ご利益満願—



平成二十年の元旦は、初春を寿ぐかのような初日出を仰ぎ穏やかな新年を迎

雪中節分祭齋行



参拝者の方が曰く。幼い頃、雪降る中ゴム長靴を履いて祖父と共に社に豆撒きに行った記憶以来の珍しい雪の中の節分祭となりました。春を迎える清しい気持ちと、邪気災厄を祓う年男年女が声高らかに撒く豆を拾い福を得ようと訪れた参拝者で境内は賑わいました。数多くの福物をご協賛賜りました崇敬者の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、福を得た方々はじめ氏子崇敬者各位の弥栄をお祈り申し上げます。



節分祭福物奉納者芳名(敬称略・順不同)

- 小林 亮
- 清水 亨
- 上島 茂三郎
- 大野 寛次
- 鈴木 武雄
- 福田 慶一
- 福田 満理
- 根岸 浩行
- 根岸 千恵子
- 根岸 信行
- 相模村上組
- イケヤ写真館
- JA相模原市上溝支店
- 八千代銀行上溝支店
- 静岡中央銀行番田支店
- 東日本銀行相模原支店
- 亀ヶ池八幡宮

えられました。正月三が日の初詣では昭和五十八年の統計調査以降最も多く、当八幡宮の御社頭もご家族揃ってのお参りや若い男女のカップルなど神前で拍手を打ち、頭を下げて真剣に参拝されている微笑ましい姿が終日見られました。

本年は天皇陛下御即位二十年の慶賀の御年であり、神社界はじめ全国津津浦浦にいたるまで国民挙つて、この慶事をお祝いしたいものと存じます。



第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉賛会 相模原支部設立総会開催

本年二月二十四日、亀ヶ池八幡宮参集殿にて神宮式年遷宮奉賛会神奈川県本部相模原支部設立総会が、神奈川県相模原市副市長石川正人氏・同参事土肥誠氏を来賓としてお迎えし、開催されました。

「式年遷宮」とは、定められた年に古式のままに御社殿を新造し、御神宝御装束を新調し、天照大御神に新正宮へお遷り戴くお祭りです。今から約三〇〇年前の持統天皇(六九〇年)が第一回御



遷宮で結ぶ人の輪心の輪 第六十二回神宮式年遷宮

遷宮を行いました。爾来二十年ごとに行われ、来る平成二十五年十月に第六十二回神宮式年遷宮を迎えることになりました。



われわれ日本人が本宗と仰ぎ尊び祀る伊勢神宮が重儀とする遷宮です。

世界に類を見ない、この誇るべき日本の伝統文化を全国民の真を結集し成功裏に終りかつ悠久の代まで守り伝えていく責務が現在の私達国民に課せられると存じます。

この設立総会で、支部長に小山昌彦総代(氷川神社)、副支部長に清水亨総代(亀ヶ池八幡宮)、小池旭総代(川尻八幡宮)が就任され、式年遷宮奉賛に向けて、新たな決意をされました。

ここに相模原支部役員並びに各神社総代世話人の切なるご懇情をご理解下さり、氏子崇敬者皆様のご協力をお願いいたします。

奉賛期間は本年四月より平成二十二年三月末となっております。各神社総代世話人にお伺いしご奉賛をお願いいたす所存でございます。

また各神社社務所でも受付しておりますので皆様の深甚なる奉賛のまことを捧げて下さるようお願い申し上げます。

神社参拝研修旅行

群馬県一宮貫前神社を参拝



当八幡宮 恒例の神社参拝研修旅行が、去る三月十八日、十九日に総代世話人神職二十五名の参加で実施されました。この研修は、神社を参拝し、御由緒や祭典・行事・活動等について研修を行い、今後の神社護持の一助になることを目的に実施しています。本年は群馬県富岡市に鎮座する一宮貫前神社を正式参拝しました。三嶋正宮司様にはご多忙のところ真心こもったお被い、また懇切丁寧なご案内を頂き衷心より厚くお礼申し上げます。

泉一の名湯に浸かり日頃の疲れを癒し、翌日は秋間梅林を散策するなどして有意義な研修親睦が深められ全員無事帰着しました。



夜は群馬で名高い出で湯の里「草津温

相模川磯部堰頭首工通水安全祈願祭斎行



本年四月十七日午前十一時、相模原市磯部に鎮座する豊受水神社の大前にて、相模川磯部堰頭首工通水式が根岸信行宮司を祭主とし、

相模川磯部堰土地改良区連合理事長武井平八郎氏はじめ県央地域県政総合セ

ンター農政部長橋本讓二氏等関係諸団体の代表が出席され執り行われました。この磯部堰頭首工は昭和五年、相模原市新磯・座間市・海老名市・寒川町・藤沢市の一部及び茅ヶ崎市一体の水田、六五五ヘクタールを灌漑する相模川左岸用水取入れ口として完成し、また昭和二十六年厚木市・伊勢原市・平塚市の水田二〇〇ヘクタールの灌漑用水取水口が完成しました。これにより広く相模野平野の穀倉地帯が誕生しました。この取水堰と

取水口から成る頭首工は、しばしば台風等による災害を受け、稲作事業に多大なる被害を与え、農家は計り知れぬ損害をこうむったものです。そこで以後、台風や洪水また夏の日照りに遭わず、すくすくと稲穂が育ち秋の稔り多く豊作に恵まれるよう安全を祈願し通水式が行われるようになりました。



感謝

亀ヶ池八幡宮責任役員前総代長 小林 亮 殿

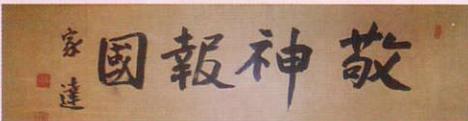


小林亮氏は、昭和43年当八幡宮総代に就任以来40余年に亘ってその重責を務められています。常に敬神の念篤く神社護持には殊の外ご熱心で、



▲大日本帝国海軍 元帥海軍大将 東郷平八郎の書

宮司はじめ神職に適切なお助言ご支援をされ常に前向きにご奉仕下さっております。参集殿や神楽殿などの上棟や竣工等の機会あるごとにご奉納下さいました多くの貴重な扁額の一部をご紹介しますお礼申し上げます。



◀徳川宗家第16代当主 徳川家達の書

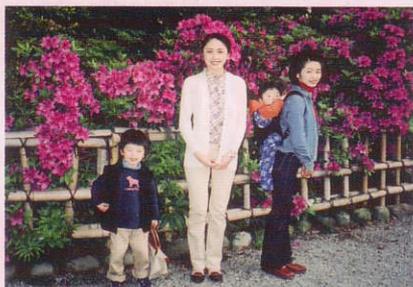
感謝

亀ヶ池八幡宮元世話人 後藤一郎 殿



後藤一郎氏は根岸万寿前宮司とは竹馬の友として公私問わず親交厚く、当八幡宮の世話人就任後は、神社の護持に忠実にご奉仕を賜ったお方であり、現に百歳を迎え豊饒として日々お過ごしでいらっしゃいます。

当八幡宮玉垣の傍らに可憐な花を咲かせる「オオムラサキ」のつつじは、後藤氏が埼玉県川口市の安行から百株程を購入され横山の畑に植えておいたのを昭和62年頃事業計画があり神社にご奉納下さり、氏子の根岸清氏が移植されました。爾来、毎年五月晴れのもと境内を潤し、多くの参拝者に心の安らぎを与えて下さり感謝いたしております。



以上、お二人のご功績を讃え、社報5号版に掲載し、衷心よりお礼申し上げ一層のご健勝を祈念いたします。

吉川啓示画伯 奉納千支絵画 其の三

吉川画伯は明治四十三年に上溝町久保に生を受けました。神奈川県警察官として勤務される傍ら、片野湘雲の師匠のもと、絵画に励まれ、創作に取り組み、日展に数多く入選され、特に「牡丹」「富士山」等を題材とした作品が多く、当八幡宮にも奉納されました。ここに謹んで千支絵画を掲載いたします。

酉

【神鳥の図】伊勢神の本宮・天照大御神の使いの鶏



申

【三猿の図】見ざる・聞かざる・言わざるで「去る」につながら災いを破る



戌

【忠犬の図】子供の魔除け・宮参りの護符・飼い主に忠義を尽くす犬

新石玉垣御奉賛者御礼報告 並びにご協賛のお願い - 其の二 -

新石玉垣をご協賛賜りました氏子崇敬者皆様に感謝申し上げます。ご協賛者皆様方のご多幸ご隆盛をお祈り申し上げます。お陰様まで刻名できます玉垣もだいぶ少なくなりましたが、引き続き氏子崇敬者皆様の会社の創立記念また家運隆昌、慶祝い等を記念して新玉垣にお名前を刻まれるようご案内いたします。なお、ご希望の方は当八幡宮へお問い合わせ下さい。



- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 三枝康悦(上溝) | 土屋 訓(上溝) | 判治君代(麻溝台) |
| 井上清次(磯部) | 小俣 旭(上溝) | 判治 拓(麻溝台) |
| 坂間 繁(本町田) | 山口真人(八王子片倉) | 堀井信也(上溝) |
| 美濃昭浩(由野台) | 森川清志(上溝) | 森川清志(上溝) |
| 湯上 治(横山台) | 柿澤宗二(麻溝台) | (敬称略・順不同) |
| 金澤史夫(大野台) | 根岸 實(上溝) | 奉賛者(其の一、二合計) |
| 杉山 清(上溝) | 金子俊次(上溝) | 328名 |

神社知識

参拝作法

手水で身を清め参道を進み、ご神殿前にてお参りします。古くから我が国独自の拝礼作法として神様を敬い拝むときにいたします。それは「二拝二拍手二拝」といい、二度丁寧にお辞儀をし、次に両手を合わせてから二度拍手し、願い事を唱え更に一度深く礼をします。神社に参拝したら、この作法を以って清々しくお参りしましょう。

1 ▲姿勢を正す。
2 ▶二度深く礼をする。(二拝)
3 ▲二度拍手を打つ(先に両手を合わせ、右手を少しひいてから拍手を打つ)。
4 ▼深く一礼して下がる。

ご案内

平成二十年例大祭齋行

ご創建以来連綿と絶えることなく齋行されている当八幡宮の例大祭は、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧下さいませようお知らせいたします。

日時 平成二十年九月十四日(日)

- 例大祭(御社殿) 午前十時 ● 奉納剣道(境内) 午後二時
- 神代神楽(神楽殿) 午後三時 ● 余興(神楽殿) 午後六時
- お囃子(囃子やぐら) 終日(適宜)

七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を齋行いたします。なお、九月に貸衣装・美容・着付・写真の展示予約会を計画しておりますので祈願祭同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。



祈禱受付：八月より
祈禱時期：十月より十一月末
写真・美容・衣裳・着付受付 八月より

平成二十二年正月祈願祭受付

二年の計は元日にあり、人は皆新年を迎えようと、希望や夢をふくらませ、神社に初詣されています。

当宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等の祈禱予約を十月より受け付けていますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。

出張祭(外祭)のご案内

住宅やマンションなどを建築する時は、事故無く立派な建物が完成するよう土地の神様をお迎えし、祈願する地鎮祭を行います。また、工場で働く社員等が怪我なく、仕事に精励できるよう工場操業安全祈願祭また井戸埋立て、除禍祭等、神社より出向いて齋行するお祭りを出張祭と言います。当八幡宮では、皆様のご希望に応じたお祭りを執り行っていますのでお気軽にご相談下さい。

